

令和8年度 広島県病害虫発生予察情報 技術情報第5号

令和8年10月2日（金）発表 広島県西部農業技術指導所

特定外来生物クビアカツヤカミキリの発生に注意しましょう

1 県内の状況

- (1) 9月1日に県の通報フォームにクビアカツヤカミキリの成虫と思われる写真の投稿がありました。撮影場所である広島市植物公園にて、9月2日に行政関係者（県・市）で、撮影したとされるエリア周辺を調査しましたが、成虫は確認できませんでした。
- (2) 9月16日に撮影エリアから半径500mの範囲のバラ科サクラ属の樹木（サクラ、モモおよびウメ等）を行政関係者（国・県・市）で調査しました。成虫は確認できなかったものの、フラス（幼虫が出した木くずと糞の混合物）を採取し、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構に同定を依頼しています。

2 国内の発生経過

本種は中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部などの東アジア原産です。国内では平成24年に愛知県で初めて確認され、その後徐々に分布を拡大してきました。令和8年に入り、岐阜県、山梨県、香川県、岡山県、長野県、福井県でも発見されています。

3 生態及び被害

- (1) 幼虫は樹木の内部で2～3年過ごし、成虫は5月下旬以降に樹から脱出して交尾や産卵を行います。雌成虫は、1頭あたり数100～1000個と非常に多くの卵を樹皮の隙間などに産み付けます。
- (2) 本種は主にバラ科サクラ属の樹木（サクラ、モモ、ウメおよびスモモ等）を加害します。幼虫が幹や枝の内部を食害することで樹勢が低下し、被害が進行すると樹木が枯死することがあります。

4 ほ場での診断及び見分け方、注意事項

- (1) ほ場での発生が無い（2）～（4）に沿って点検し、疑わしい場合は、以下のURLまたはQRコードから「クビアカツヤカミキリ通報フォーム」への情報提供をお願いします。

<https://f8032958.form.kintoneapp.com/public/kubiakatuyakamikiri>



- (2) 成虫は2cm～4cm程度で真っ赤なクビ（胸部）とツヤツヤした黒い体が特徴的です（図1）。
- (3) 幼虫が樹の内部を摂食し、フラスを大量に排出します（図2）。これを発見の手掛かりとして、樹幹や株元付近をよく観察しましょう。ルーペで拡大して観察すると、スプーンでくり抜いたようなフレーク状の細かい木片が見られます（別紙1参照）。

- (4) 成虫や幼虫は見つけ次第、その場で捕殺してください。クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されているため、飼育や生きたままの運搬・保管・野に放つことが原則禁止されています。なお、同定が必要な場合は、死亡個体を保管してください。

5 防除上の注意

- (1) 成虫が産卵を行う8月頃までに、各作物に登録のある薬剤で防除しましょう。特に収穫期に防除ができていないほ場では収穫後の防除を徹底しましょう。
- (2) フラスを見つけた場合は、フラス排出孔に針金などを差し込んで、幼虫を刺殺しましょう。
- (3) 捕殺の成否に関わらず、食入孔のある樹幹部にネット等(目合い4mm以下)を巻き付け、羽化した成虫の移動分散を防ぐとともに、ネットの中に成虫を見つけたらその場で捕殺しましょう。
- (4) 被害が大きい樹は、9月以降から翌年の4月までに伐採し、放置せず成虫が飛散しないようネット等で覆い、速やかに処分してください。
- (5) なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム(<https://pesticide.maff.go.jp/>)」を参照してください。

6 写真

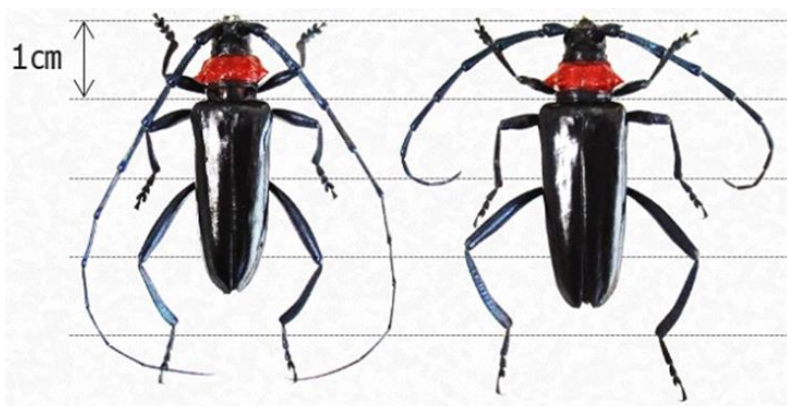


図1 成虫の大きさ(左がオス、右がメス)



図2 木の根元にたまったフラス

(図提供：群馬県環境森林部自然環境課)

お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151
東広島市八本松町原 6869
TEL：082-420-9662(直通)



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)



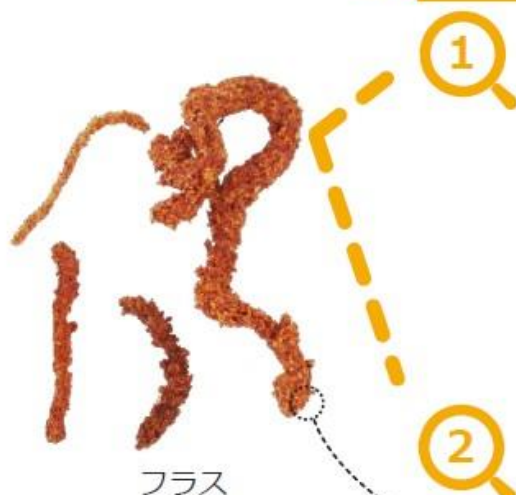
フラスの見分け方

フラス：幼虫が木に空けた穴から排出するフンと木くずの混合物



1 確認ポイント

木の種類：**サクラ類、ウメ、モモ、スモモ等**



①

かりんとう状のフラスが大量に排出される

* 年月が経過したり根際から排出されたものは、バラバラに崩れていることがある



かりんとう状のフラス



崩れたフラス

②

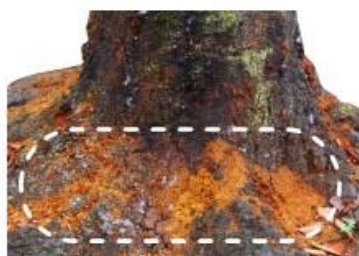
薄く短い木くずで構成される



分解



2 被害の痕跡例



サクラの根元や幹にたまったフラス



樹液の大量排出



成虫の脱出孔
(縦に長い楕円形)

3 似ているフラスとの比較

	クビアカツヤカミキリ	その他のカミキリムシ	コスカシバ
形状	 かりんとう状・バラバラ	 ペレット状・バラバラなど	 バラバラ・塊状
主な構成物 (3倍拡大)	 薄く短い木くず	 繊維状の木くず	 粒状のフン

(参照：群馬県環境森林部自然環境課 <https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/18142.pdf>)